

国内の壁画古墳

我が国には、高松塚古墳・キトラ古墳以外に、装飾古墳と呼ばれる一連の壁画を持つ古墳が存在する。これらには、高松塚古墳・キトラ古墳と、所在する地域や築造年代等において異なる点がみられる。

	装飾古墳	高松塚古墳・キトラ古墳
所在地域	九州北部地域と、関東北部～東北南部地域に集中	奈良県
築造年代	5世紀～7世紀前半 (6世紀が中心)	7世紀末～8世紀初頭
壁画の内容	比較的抽象的な内容が多い	比較的写実的な内容 極彩色の色料が用いられる
石室内（壁面）の漆喰の使用	漆喰は用いられない 白土（白色粘土）による地塗り等を有する場合がある	漆喰による地塗りを有する※

※石室内（壁面）に漆喰による地塗りがなされた古墳としては高松塚古墳・キトラ古墳以外に、カヅマヤマ古墳・マルコ山古墳（いずれも奈良県）や宝塔山古墳（群馬県）などがある。

○装飾古墳の保存・活用の方法

・主な保存方法

- ① 主体部等に保存施設を設置
- ② 覆屋を設置
- ③ 開口部・入口等に扉等を設置
- ④ 開口部周辺等への囲さく等を設置

・壁画（装飾部）の公開方法

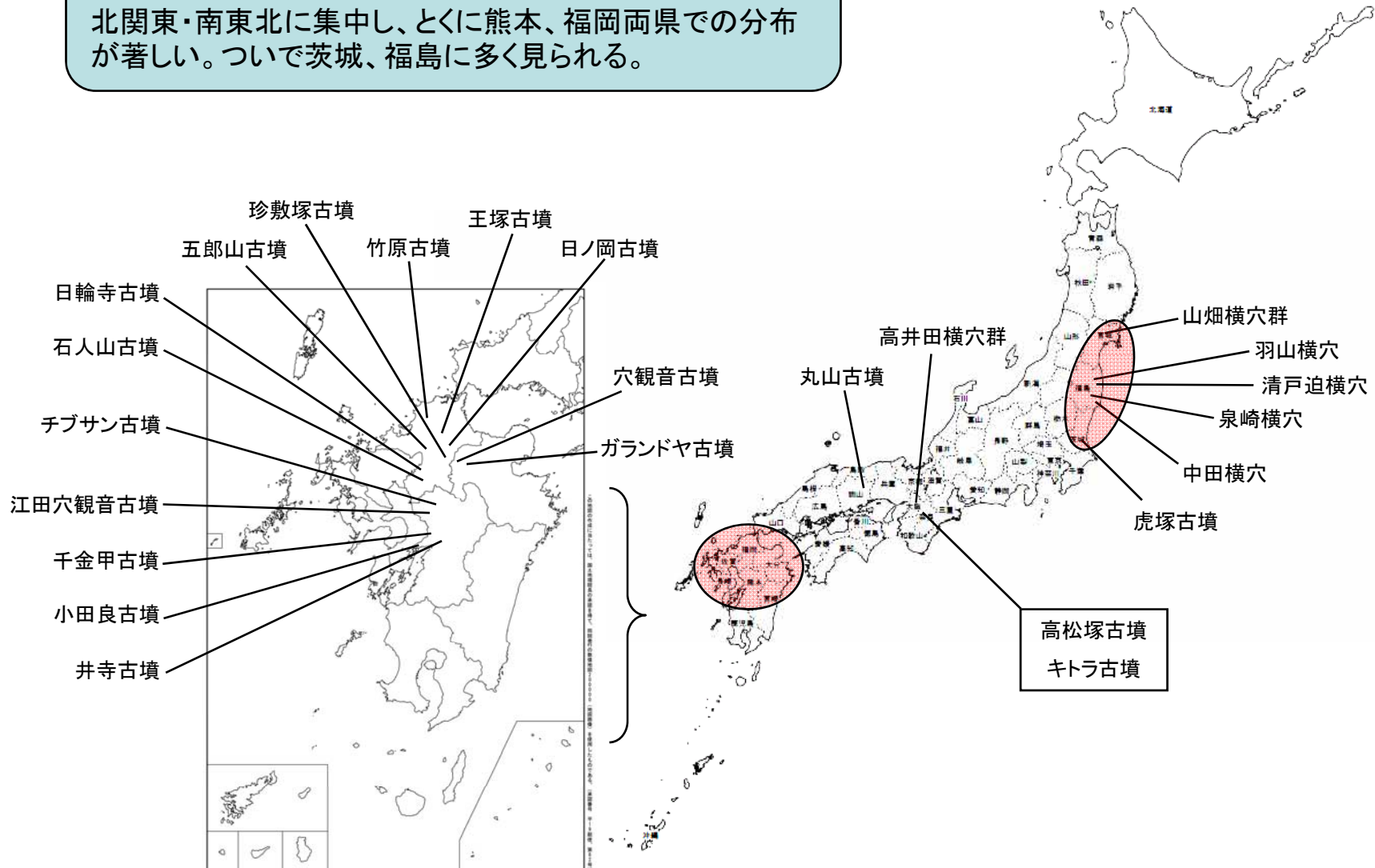
常時公開から非公開まで千差万別である

主な壁画古墳の年表(概要)

	九州	奈良	東日本
400年	石人山 小田良 井寺 日輪寺		
500年	日岡 チブサン 王塚 竹原 五郎山 珍敷塚		中田 泉崎
600年	千金甲(乙) 江田穴観音		虎塚 清戸迫
700年		キトラ 高松塚	

壁画古墳の例

壁画古墳のうち、装飾古墳は約600基が知られているが、その分布状況は大きな偏りがある。全体として、北九州と北関東・南東北に集中し、とくに熊本、福岡両県での分布が著しい。ついで茨城、福島に多く見られる。





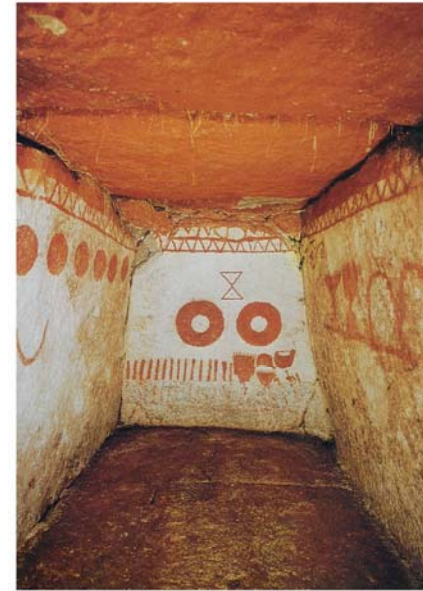
井寺古墳



竹原古墳



王塚古墳



虎塚古墳